

特集 Neuro-Oncology

企画 本誌編集委員会

がんにおける治療法の発展は、目を見張るものがある。新しい治療法の開発も進み、生命的な予後も大きく変わりつつある。そういったなかで、免疫チェックポイント阻害薬など、まったく新しい薬物療法も導入され、いままでになかったタイプの中樞神経系の障害や末梢神経・筋障害といった副作用が生じることも明らかになっている。欧米では、脳神経内科医が“Neuro-Oncology”という形でがん治療に関わるが、わが国ではそういった関わりは限られている。今後、脳神経内科医にとって関与する機会の多くなるがん医療への興味を持っていただくための特集とした。